

市民講演会

『可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける』ために

日時 場所

令和元年7月20日(土) 午後2時
能代市文化会館 中ホール

開会にあたって

能代市山本郡医師会 会長
ナラティブブック秋田 能代山本支部 支部長 山須田 健

講演

地域を多職種でつなぐ『語り継ぐ いのちとものがたり』
患者の想いに寄り添う 地域の医療・介護を支えるICTツール
～ナラティブブック秋田の持つ「ちから」～

一般社団法人秋田県医師会
副会長 伊藤 伸一

パネリスト

在宅医療・ケアの現状と ナラティブブック秋田への期待

- ①介護支援専門員の立場から：NBを活用して秋田で生きる
由利本荘医師会居宅介護支援センター
管理者 菊池 幸恵
- ②訪問看護師の立場から：地域に看護を届ける～NBを活用して
厚生連由利訪問看護ステーション
管理者 鈴木 知栄子

③患者家族の立場から

NBは母が在宅で過ごした物語 由利本荘市 畠山 理帆
「ナラティブブック秋田」の概要

クロスケアフィールド株式会社 岡崎 光洋

Q & A 回答者 伊藤 伸一 岡崎 光洋

小野 まゆみ (あきた森の保健室)

主催 秋田県医師会・能代市山本郡医師会

ナラティブブックとは

患者さんが自分の情報を管理し、信頼できる地域の医療・介護・福祉関係者が持っている情報を集約して情報を共有するコミュニケーションのための仕組みです。

(この在宅医療・介護ICT連携促進事業は県の補助事業です。)